

### 7月の活動

梅雨明けが遅れて活動も遅れ気味。22日の花の宴とキッズ自然体験 IN 山野草の里のビッグイベントに向けて、夏草がはびこった山野草園ほかの草引き、草刈が中心だった。29日には、村の人が種から育てられたユウスゲの苗を池の周りや土手に植え付けて、刈り取らないように竹の目印を立てた。畑の作業はサツマイモの植え付けやトマトの手入れ、そのほかは大豆やピーナッツ畑の草引き、草刈、灌漑、古代米の草引きなどだった。

**収穫** 1) 菜種は前年より増えて60kg近くあり、18リットルくらいの油になりそうだ。2) ジャガイモ掘りは15日と26日。二日目は遅すぎたが、未検量ながら100kgを越したと思われる。男爵、メークインのほか「紫のまだら」「紫」「美しい赤」「中まで紫色」を加えて合計6種類。いたんだ芋をお昼に湯がいて塩で美味しく食べた。3) 12日に村の大きな古木の梅の実を採る。半分ほど残して、20kg以上の収穫となり、梅酒、梅干し、ジャムにした。4) ミニトマト、トマト、キュウリ、ナスビが少しずつ採れ始めている。

菜種の乾燥



梅の収穫



新ジャガイモ



### 7月5日 三輪幼稚園家庭学級の訪問

三輪幼稚園家庭教育学級のみなさんが研修に訪問された。理事長から会の説明の後、竹ポックリ作りを体験された。山野草の観察の時間は少なかったが、ヤブカンゾウ・ツチアケビなどの花、ヤマユリ・ウバユリの蕾、サワフタギ・ウツギ・ツクバネウツギ・ハナイカダ・ヒメコウゾ・フタリシズカ・ムロウテンナンショウなどの実を見てもらった。

### 7月15日 ボランティアセミナー

奈良市男女共同参画センターあすならで開かれたボランティアセミナー（奈良 NPO センター主催）に3名が参加し、2006年度近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度の受け入れ組織としてのプレゼンテーションを行った。16団体の内12団体の説明が行われたが、参加予定のボランティアの顔がほとんど見られず少し残念であった。

### 7月18日 植物調査

22日の花の宴、キッズ自然体験を控えて、横山先生をお迎えして植物調査を行った。今回は子ども探検基地（仮称）となる小山、三谷周辺の小夫の自生地が中心。子ども探検基地は雨上がりで蒸し暑く多くの蚊に悩まされ、蚊取り線香を焚いて対応した。ヒヨドリジョウゴ、ソヨゴ、コシアブラ、ネジキ、メウリノキ、スノキ、ナツハゼ、ツクバネウツギ、アブラチャンなど、里の木々がほとんどそろっているようだ。近辺のクサレダマとドクゼリの自生地も見せてもらった。

### 7月20 - 21日 シニア自然大学ピオトープ科の訪問

以前から池の再生や湿地ピオトープのことで助言をいただいているみなさんが訪問された。降り続く雨もあって、予定の「1泊、自炊」から、1泊組4名、21日だけ3名の訪問となった。目的は6枚ほどの放置水田の湿地ピオトープ化のワークショップで、多くの方々が訪問されることを願った、花菖蒲の田・ミズバショウの田・水車小屋・東屋・間伐材による回遊道路などのアイデアが出た。これらのアイデアを含めて会で検討を加えて行くことになる。

### 7月22日 第19回花の宴 キッズ自然体験 IN 山野草の里

前日まで続いた梅雨の雨が嘘のように晴れて、たいへん暑い一日になりました。数日前から咲き始めていたヤマユリがちょうど見ごろになりました。

**キッズ自然体験** 定刻10時過ぎに開始。みんなの願いの短冊を書き、七夕の大きな笹に吊るして立てた。石臼で「きな粉」作りに挑戦。そのきな粉でわらびもちを試食しました。すこし離れた「子ども探検基地」に移動して、基地に登る階段作り、昆虫採集。午後は小川に入って生き物を探り、カワムツ、ヤゴ、イモリ、ドジョウ、コオイムシ、マツモムシなどを捕獲し調べました。

**花の宴** バスが到着した11時過ぎに開催。子どもたちと同様に、七夕と石臼の後、山野草園周辺の散策、自然ク

ラフト（自然工作・竹鉄砲・シュロバツタ）をみなさんで楽しんでもらいました。午後はユウスゲ自生地までの自然探索を実施しました。

この模様は、訪問された方が撮影された山野草のビデオを NHK に持ち込まれ、7月28日 18:10-19:00 奈良51chの「かんさいニュース1番」で放映されました。また、7月26日の読売新聞(奈良)でも報道されました。< 予定した朝一番のバスの運行取り止めで多くのかたがたにご不便をおかけしたため、お詫びしました。 >



### 7月29日 奈良県環境フェアに出展

大和高田市の奈良県広域地場産業振興センターで開かれた奈良県環境フェアに4名で出展しました。多くの民間団体、企業、官公庁の出展があり、夏休みに入った親子連れでにぎわいました。山野草クイズ、シュロバツタ、ガリガリプロペラを用意しました。山野草クイズは山野草園で夏場に咲く25種類の山野草の名前を見つけるものでしたが、自然派の親子に人気があり、里への訪問者が増えそうです。シュロバツタに興味を抱かれる人も多く、お向かいの出展者がずっと製作に励み会得され、さっそく子供に教えておられました。

### 7月30日 桜井市観光まちづくり協議会設立記念講演会

桜井市観光まちづくり協議会設立記念講演会で理事長が事例発表として「山野草の里づくり」を紹介しました。講演は大阪21世紀協会の堀井義殷氏で、「顔が見える楽しいまちづくり」との演題で、内外の事例を紹介され、観光とは「自らが光ること」その光を観に人びとがやってくる。また、「天は自ら助ける者を助ける」と他に頼らず自分で道を切り開く必要性を強調されました。堀井さんには「山野草の里づくり」に注目いただいたようで、活動日に来ていただけるようです。何らかの形で助言なり協力をいただけたと思われます。

そのほか、三輪で酒づくりをされている今西さんからは、酒米の生産と居酒屋で使用する野菜づくり、奈良県の平城運都1300年記念事業協会の田中さんなどからはイベントへの参加について、やまとびと編集長の堀井さんからは12月の2、3日で予定のイベントへの参加要請と「やまとびと」への掲載についてお話がありました。桜井市に道の駅をつくらうという機運が高まっていて、ある方の案では、道の駅で人気のある山野草の供給に当会が候補に上がっているようです。

## 7月の花、面白い虫、生き物



上右 ネムノキ  
上左 スズサイコ  
下右  
オオバジャノヒゲ

上 左 オオゾウムシ 右 ニセノコギリカミキリ  
下 左 コオニユリに来たカラスアゲハ 右 ヤマアカガエル

## 山野草の里・山野草園にこれから咲く花

8月 アカメガシワ、アキカラマツ、アキノタムラソウ、イナカギク、ウバユリ、オモダカ、カワラナデシコ、ガガイモ、ゲンノショウコ、コマツナギ、ゴンズイ、サワヒヨドリ、センニンソウ、タカサブロウ、タムラソウ、ツリガネニンジン、ツルリンドウ、ノササゲ、ノリウツギ、フシグロセンノウ、ミズヒキ、ミソハギ、ヨメナ、クズ・・・

9月 ハギ、アキノノゲシ、サワフタギ(実)、ウド、イヌタデ、サクラタデ、シシウド、ヒガンバナ、シュウ

メイギク、ノコンギク、ヨメナ、ツルニンジン、ノダケ、ナンバンハコベ、ヤブマメ、ツルマメ、ヤブツルアズキ、フユイチゴ、リンドウ・・・



左から ノササゲ クズ ナンバンハコベ ヤブマメ ツルマメ ヤブツルアズキ

## 8月・9月の活動日

**あなたのご参加を  
お待ちしております!**

- 8月 2日(水) 活動日  
5日(土) 活動休み  
8日(火) 桜井小学校区人権教育推進協議会から管外研修に来訪予定  
桜井市幼小中夏季研修 パネルディスカッションに出演予定  
9日(水) 活動日 田原本農業高校来訪予定  
12日(土) お盆休み  
16日(水) お盆休み  
19日(土) 活動日 そば畑整地  
23日(水) 活動日  
26日(土) 活動日 そば種まき  
30日(水) 活動日
- 9月 2日(土) 活動日  
6日(水) 活動日  
9日(土) 活動日 貝ヶ平山、白木方面ハイキング(予定)  
12日(火) 纏向校区人権推進協議会から管外研修に来訪予定  
13日(水) 活動日  
16日(土) 活動日 そばピクニック(笠) 参加(午後)  
20日(水) 活動日  
23日(土) 活動日  
27日(水) 活動日  
29日(金) シニア自然大学インタープリテーション科研修(来訪)  
30日(土) 活動日

「活動日」の内容： 赤い花のそば畑の整備と種まき、野菜畑の管理、秋野菜の種まき、  
自生地管理、ピオトープづくりなど

- ・天候などの都合により活動内容を変更又は中止する場合があります。参加いただける方は、当日午8時頃までにお問い合わせください。なお、前以て参加の連絡をいただいた方には当方からご連絡します。
- ・いずれも午前9時30分に 山野草園へ集合願います。
- ・平日は弁当ご持参願います。  
土曜・日曜は、ボランティアしてくださる方の昼食はみんなで作ります。予め参加ご連絡下さい。
- ・服装は、作業のできる服装で。カップ、ゴム長靴、着替えもご用意下さい。
- ・いずれもご連絡は下記まで願います。

NPO 法人 山野草の里づくりの会 <http://www.sanyasou.org/>

〒633-0102 桜井市三谷528番地 福岡定晃内

TEL/FAX 0744-48-8105(福岡) E-mail [fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp](mailto:fukuokasadateru@hkg.odn.ne.jp)

編集 芳原